

活動報告

用件	羽田街道おもてなし清掃(40回)	日時	2019年7月7日 8:15-10:30
場所	湾岸道路(野鳥公園～大田市場)沿	記入	2019年7月8日 縄田良作
参加	81人(内、初44) 初参加の内、新調生徒さん約40人		



(時間)8:15-10:10 開会・掃除・閉会・解散
 -10:30 運搬・ゴミ捨・道具・清掃
 (配員)②④⑤⑥約10人 ⑦～⑨約15人
 (道具)

リヤカー	2
猫車	0
竹ホウキ	8
緑ホウキ	2
手箕	9
くま手	0
ちり取り	1
スコップ(角,丸)	3,4
草刈鎌	20
トンブ	4



・(ゴミ)可燃8 資源8(缶1ペット6瓶1)袋

【全般】 7/5 ボランティアサポートプログラム協定調印(次頁)

- (1)雨中の作業 初めて終始雨中。うっとうしく行動不自由な反面、土除去や草取りはしやすかった。
- (2)ゴミの量 例えば市場西門前などは、**昨年と比べ大きく減った**。4月以降の良い状態を続けたい。
- (3)初参加 都議、区議、市場関係者のご参加あり、**地元の方の参加が増えることを期待**します。

②【西門】



・掃除前(上)、昨年に比べ格段にゴミが減った
 ・今回、右奥垣根上の植木をバリカン剪定

④【京浜大橋北】北



・草が生える堆積土を除去
 ・草ぼうぼうでゴミ一杯だったフェンス内に6/26重機が入り景色一変(下)

⑤【京浜大橋北】南



・(上)交差点信号停車でポイ捨て
 ・先月掃除したが、一か月でこの状態

⑦(上) ⑧(下)



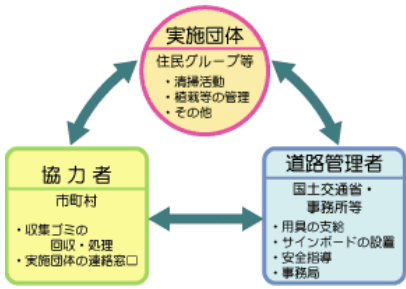
新調の生徒さん、今回は草取りが多かったですね
 雨の中ご苦労様です。

【感想発表】 [区域]

- ・[②] 見違えるようにきれいになりました。市場内も不法投棄が同じように多く、一生懸命取り組んでいるところです。皆さんこうして雨の中でも活動しておられ、素晴らしいと思います。(初、大田市場)
- ・[④] 半年ぶりに羽田清掃に参加できると思って張り切って来たら、人が少ないんです。間違えて昨日来たんです(笑)。そこで南浦和の孫のところへ行き、孫の保育園の前にいっぱい生えていた草を一緒に掃除しました。
- ・[⑤] ゴミが一杯ありました。「捨てない気持ち」を育てないと、ゴミ拾いも際限がないなとしみじみ感じました。(木更津)
- ・[⑥] 4月以来でした。植栽のツタや雑草を取りました。雑草なのか植栽なのか分からないくらい、本来の植栽が閉め出されていると残念に思いました。



【報告】 ボランティア・サポート・プログラム 7月5日協定調印



- 概要
- ・地域住民の国道美化活動支援プログラム
 - ・全国 1644 団体、東京事務所管内 36 団体
- メリット
- ・公的認定による啓発の促進
 - ・用具支給(今回なし)、ゴミの回収
 - ・サインボード設置 など

実施団体	日本を美しくする会 羽田街道おもてなし清掃	清掃
道路管理者	国交省 国道事務所	管理
協力者	大田区(本ケース)	ゴミ回収

- ① 道具 今後も野鳥公園様にお借ります。道具の紛失、手入れなど、今まで同様注意。
- ② ゴミの分別 回収して頂く大田区さんとの信頼関係になります。

	拾う段階(個人)	最後に
「燃えるゴミ」	・各自持参の2つのレジ袋に、 拾う時点で分別し ・大袋(90%)に移し替え	・缶 ・ペット } 分別する ・ビン
「資源ゴミ」 (缶・ビン・ペット)		
「草」	地球に戻す。 袋に絶対に入れない。	・道ばたに、根元を歩行者側に向け、並べる。 ・場所が偏らず万遍に並べる。(万遍に地中に戻す)
粗大・不燃ゴミ	回収しない(置いたまま)	別途管理者に連絡し、回収してもらう

【ワンポイント】 「良い習慣」は人生を変える (新調生徒さん向け原稿) 縄田良作

「掃除」は、物的美化により、目に見えない「人の心をきれいにする」ことが真の目的だと思います。

鍵山秀三郎『一日一話』

- 7/6 「ゴミを拾う人は捨てない」 タバコの吸殻を捨てたからといって、急に人生が悪くなるわけではありません。だから無神経に捨てる。その考え方が問題です。捨てる人は捨てる一方、捨てる人で拾う人はまずいません。反対に、拾う人は捨てません。この差は、年月がたてばたつほど大きな差となって表れます。人生は、こうしたことの積み重ねですから、無視できません。
- 7/2 「習慣が人生を変える」 習慣を変えるのは、簡単にできることではありません。たとえば、右利きを左利きに変えるだけでも、大変な努力を必要とします。しかし、人生をよりよく生きるためには、悪い習慣を良い習慣に変えることが何よりも大事なことです。習慣を変えるために必要な努力から逃げてはなりません。
- 2/7 「習慣が人格を作る」 人生を急に良くしようとしても、良くなるものではありません。一つひとつ、良い習慣を身につける以外に方法がないと思います。良い習慣に裏打ちされたその人の行動が人格として表れます。商売をしている人は、お店の雰囲気表れます。物を作っている人は、物作りに表れます。習慣が人格を作ります。

「10年偉大なり。20年畏るべし。30年歴史になる。50年神の如し」

中国の格言です。相談役は、現代人の三大欠点として①気づかない ②すぐ動かない ③我慢できないを挙げておられます。根気がない、続けることができない人が増えていると思いますが、これは③我慢できないに当たると思います。人の才能とか成功とかは、結局「これをやる」と決めて「やり続ける」ことの結果ではないでしょうか。どんなことでも「習慣」にしてしまえば、苦痛でも億劫でも何でもなくなるということだと思います。

若い方には、ゴミを拾うとか、呼ばれたら「ハイ」の返事をする、はきものを揃える、バスで席を譲るなど、小さなことでも「これを続けよう」と決めて、それを1年、3年、10年と続ければ習慣となり、それは自分の力となり、人生も変わってくるということを、実際にやって身につけてほしいです。

鍵山事務所の阿部豊さんは、18年間ほとんど一日も休まず、土日も目黒川沿いの菅刈公園の掃除を続けています。それも4時過ぎの始発電車に乗り、現地に5時半に着き7時過ぎまで…。相談役に「そろそろいいんじゃないか」と言われてもやめない！ 完全な「習慣」生活の一部になっているのです。



「3か月で81歳になります、頭以外悪いところがありません。これも掃除のお陰です。公園辺りを掃除していますと顔なじみの方が大勢出来まして、掃除したあとを振り返りますときれいになって気持ちがいいですね。精神的にも非常に良い効果があります。規則正しく生活することが健康の基、相談役に感謝しております」